



ボランティア紹介リレー

第18回

今回は、『ありんこ』からの紹介で、『ちどり会』をご紹介します。

「ちどり会」とは？

昭和56年に島根県人会の芸達者達が、郷土の踊りを広める芸能同好会として「出雲ちどり会」を発足しました。現在は広く入会を歓迎し、島根県以外の方も入りやすいように、「ちどり会」と改名し、活動をしています。



主な活動は？

どじょう捌き、銭太鼓を中心に、落語やリズムダンスなど、メンバーの特技を生かした様々な芸能を、福祉施設や学校、イベントなどで披露しています。施設への訪問活動では、参加型のプログラムも取り入れて、みなさんに芸能の楽しさを体感してもらっています。また、芸能の披露だけでなく、清掃活動や福祉ボランティアなど、地域に密着した活動も積極的に行っています。

活動場所：今伊勢公民館
活動日時：毎週金曜日(第5は除く)
第1・3は午後1時30分～3時30分
第2・4は午後7時～9時



活動のやりがい・魅力は？

私たちの芸能をみて、笑顔になってくださる姿を見ると、とても嬉しい気持ちになります。また、芸能の練習や普段の会話などを通して生まれた、仲間との絆は、かけがえのない宝物です。みなさんに笑顔や元気を届けるとともに、自分たちも楽しくなれる、魅力的な活動です。

市民の皆様へひとこと

ちどり会では年齢・性別問わずメンバーを募集しています。趣味や特技を持っているけど発表の場がない方、何かしてみたい方、やる気がある方、興味のある方は是非、社会福祉協議会へご連絡ください。(TEL85-7024)

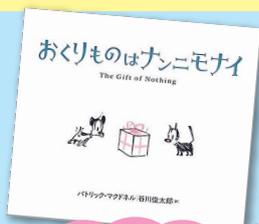


取材を終えて

活動を見学させていただき、メンバーの皆さんが、和気あいあいと声を掛け合いながらも、真剣に練習されている様子に感動しました。練習風景から芸能へのこだわりや、見ている方に喜んでいただけるよう、普段から努力されていることが伝わってきました。また、来年で活動40年目を迎えるというお話もお聞きしました。これからも、笑顔と元気を皆さんに届ける、ちどり会のますますのご活躍を願っています。

おすすめふくしの本

おくりものはナンニモナイ



図書館で借りることができます。

パトリック・マクドネル/作・絵 谷川 俊太郎/訳 あすなる書房
主人公は、猫のムーチ。ある日、ムーチはお隣に住んでいる大好きな犬のアールに贈り物をしたいと考えます。ですが、なんでも持っているアールになにをあげれば喜んでもらえるのかわかりません。ムーチは一生懸命考えました。悩んだ末、ムーチは気づきます。そうだ、「ナンニモナイ」をあげればいいんだ、と。

本当の豊かさとはなにか。モノがなくてもすでにかげがえのないものを多く手に入れている、うれしいことや悲しいことを分かち合える家族や友人がいる、といった『心の豊かさ』を気づかせてくれる作品です。